

# オガサワラカワラヒワの絶滅回避のための保全プロジェクト

一般社団法人 Islands care

一般社団法人Islands careは、自然環境調査、環境学習、地域振興を通して、小笠原の美しい自然を守り、後世へと引き継ぐ活動を行っています。

## 【活動背景】

小笠原諸島固有の鳥類オガサワラカワラヒワは近年激減しており、繁殖個体数が200羽程度と推定され、存続可能性分析では今後15年以内に絶滅することが示唆されました。そのような状況下で、外来種対策、繁殖環境の整備、域外飼育など、他の保全活動の実施及び評価に不可欠な生物学的な情報の収集と個体数のモニタリングが不足していることが課題となっていました。

## 【活動目的】

最も有効で実効性の高い保全計画を策定し、実行するための科学的な根拠を提供することを目的とし、オガサワラカワラヒワの生物学的な情報を収集、個体数の推移をモニタリングを実施しました。

## 【助成金の活用用途・活動結果】

モニタリング調査を通して、個体数密度の推移のほか、繁殖環境の情報が収集されました。また、主な生息地が無人島であるため、調査頻度が限られることが課題でしたが、人工的な水場の創出とデータ転送型カメラの設置により、安定的なモニタリングと常時観察が可能となりました。

さらに、繁殖や個体数の増加に重要な餌資源について、糞のDNA分析により、餌資源となっている主な植物種を把握することができました。



## 【団体からのメッセージ】

2023年は、繁殖が良好であったオガサワラカワラヒワですが、2024年は大きく減少に転じており、未だ絶滅の危機にあります。支援をいただいた調査手法の開発により、無人島の常時観察が可能となり、生息状況を常に把握ができるようになったことは、厳しい状況が続く中で大きな成果となっています。

危機的な状況の中ではありますが、2024年9月には日本の固有種として記載がされました。世界中で日本、そして小笠原にしかないこの鳥を絶滅させないため、引き続き保全に取り組んでいきます。